

令和元年度教育行政執行方針(要約)



教育長 辻 俊行

教育委員会として令和元年度に重点的に取り組む施策について申し述べます。

1 変化する社会を生きる力の育成

各学校において「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に積極的に取り組みます。小学校においては、算数科の指導の充実を図るため、非常勤講師を配置するとともに、外国語活動や外国語科の指導の充実に向けて、外国語指導助手などの活用を推進するほか、プログラミング教育の充実にも努めます。中学校においては、免許外指導の改善を図るため、非常勤講師を配置します。

また、学校司書の配置を拡充し、学校図書館の読書環境の整備や児童生徒の読書活動の充実を図ります。

いじめの問題につきましては、学校、家庭、地域、関係機関などと緊密に連携し、未然防止や早期発見の取り組み

を進めるほか、LINEによる相談を試行します。

薬物乱用の根絶に向けては、家庭や地域、関係機関などと連携し、薬物の危険性などの理解の促進に努めます。

むし歯予防を効果的に進めるため、すべての小学校において、希望者を対象としたフッ化物洗口に取り組みます。学校給食につきましては、

より安全で安心な給食を提供するため衛生管理を徹底します。

学校における防災・安全につきましては、地震や津波等が発生した場合の危機管理マニュアルを見直すほか、通路の安全確保に努めます。

特別支援教育につきましては、専門機関との連携を図り、支援体制の充実を図るほか、言語に障がいのある中学生を対象とした通級指導教室の開設に向けた調査・研究を進めます。

不登校等への対応につきましては、学校と関係機関や保護者の連携を図るスクールソーシャルワーカーを配置します。

就学援助につきましては、収入認定基準が生活保護基準

の引き下げの影響を受けないよう支援の充実にも努めます。

2 地域とともにある学校づくりの推進

すべての市立幼稚園、小・中学校および高等学校においてコミュニティ・スクールを導入し、保護者や地域と連携し、それぞれの学校で創意ある取り組みを推進するほか、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働する地域学校協働活動の体制整備を進めます。

学校における働き方改革につきましては、ICカードを活用して教職員一人ひとりの勤務時間を把握するための取り組みのほか、校務支援システムの導入、外部人材の活用や学校閉庁日の設定、部活動の方針に基づいた取り組みなどを進めます。

さらに、南北海道教育センターでの集合研修や、指導主事等が学校からの要望に応じて行う訪問研修の充実を図ります。

学校再編につきましては、統合方針が決定された各学校において、準備を進めます。

市立函館高校につきましては、進学重視型の普通科単位制高校として、創意ある教育課程を編成し、魅力ある高校づくりを進めます。

3 函館への愛着や誇りと未来へ飛躍する力の育成

映像や社会科副読本などを活用し、函館の歴史や文化、自然など、函館の良さを感じることのできる教育活動を推進します。また、市立函館高校の生徒を対象とした海外留学事業を実施するとともに、望ましい職業観などを身に付けることをめざすキャリア教育の充実を図ります。

4 生きがいを創り出す生涯学習の推進

まなびつと広場や高齢者が楽しみながら知識や教養を身に付け、仲間づくりを通して、生きがいのある生活を実現できる学習の場を提供します。また、地域とともにある学校づくりの推進と地域住民の読書活動の充実を図るため、学校図書館の地域開放を拡充します。

5 心の豊かさを育む文化芸術の振興

函館市青少年芸術教育奨励事業や文化芸術アウトリーチ事業を実施します。

また、はこだてカルチャーナイトなどの活動を支援するほか、市民文化祭を開催するなど地域に根ざした文化芸術の振興を図ります。

このほか、引き続き、函館市民会館の耐震等改修工事に取り組むとともに、函館市亀田

交流プラザの整備を進めます。

文化遺産の旧函館区公会堂の保存修理、垣ノ島遺跡の整備や五稜郭跡の堀の石垣改修に引き続き取り組むほか、遺愛学院本館および大谷派本願寺函館別院の保存修理事業の費用を助成します。

また、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けて、地元関係機関や団体と連携し、縄文遺跡群の価値や魅力を積極的に発信します。博物館では、箱館戦争終結150年にあわせた企画展を開催します。

6 健やかな心身を育むスポーツの振興

子どものスポーツ機会の充実やライフステージに応じたスポーツ活動の推進を図るとともに、各種スポーツ団体等と連携し、各種競技大会の開催やスポーツ合宿および大会の誘致に努めるほか、プロスポーツイベントを開催し、市民のスポーツへの関心を高めます。

また、本市で開催される、ハンドボール男子日本代表の東京オリンピック事前合宿への支援を行います。

さらに、4回目となる「函館マラソン」の一層の充実をめざすほか、千代台公園野球場のスコアボードやメインスタンドの改修などを行います。